

2022年度 法科大学院

第4期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5)下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6)参照は不可となっています。
- (7)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文 1]

次の文章を読み、続く問いに答えなさい。

裁量という言葉がある。大学生なら意味は分かると思うけれども、いくぶん硬い感じがする。やはり一定の年齢を超えてから使い始める言葉だろう。飲み会の場所をどこにしようかというとき、「君の裁量にまかせるよ」と言って言えないことはないが、たいていは「君にまかせるよ」で済ませているのではないか。若い人でも、会社に入って取引先と折衝する立場になれば、「その点は御社の裁量におまかせいたします」といった発言をする機会が出てくるはずだ。社会生活の幅が広がり、いろいろな分野の人たちと付き合うようになるにつれて、この言葉を使うのにぴったりの場面が増えていくのだろう。

こんなふうにして誰もが知らず識らずのうちに使えるようになるわけだが、本当のところ、この言葉はどういう意味なのだろうか。手元の広辞苑を引いてみると、「自分の意見によって裁断し処置すること」と書いてある。なるほどその通りだ。たしかにそういう意味で使っている。しかし、日頃この語を多用している大学教員としては、どこかもの足りない。何が不足しているのだろうか。自分がどういう局面でこの言葉を使っているのか、思い起こしてみることにする。

一番は何と言っても講義の最中だが、その場合はたいてい専門用語として使っているのを除外する。教室以外でこの言葉を使ったり耳にしたりするのは事務室である。新米教員のわたしは、いろいろと分からないことが多い。シラバス（講義構想）の原稿を提出する前だったと記憶するが、成績評価での平常点の付け方について質問した。すると担当の方が、丁寧に教えて下さった。「平常点は10点から30点の間でお決め下さい。平常点はレポートの評価点と授業中の態度の評価点の合計になりますが、その評価割合も各教員の判断で決めることになっています。ただし、たとえば、期末試験70%、平常点は30%、平常点の内訳はレポート20%、授業中の態度10%というように、学生が評価割合まで分かるようにシラバスに記載しておいて下さい⁽¹⁾」。

そうそう、この間はレポートの締め切りに遅れた学生の取扱いについて教えてもらいに行った。「締め切りを今日の15時にしていたのに、30分ぐらい遅れて持ってきた学生がいました。一応受け取りましたが、採点するべきかどうか悩んでいます。どういう取り決めになっていますか」と尋ねると、「それは先生の責任でお決め下さい⁽²⁾」とのことだった。それなら勝手にできて有り難いようだが、実は気が重い。

問1 下線部(1)の内容を裁量という言葉を用いて500字程度で説明しなさい。自分が裁量という言葉にどのような意味を込めているか、どの部分にどのような裁量があると考えているのか、よく分かるように書くこと。

問2 下線部(2)の内容を裁量という語を用いて500字程度で説明しなさい。前問と本問とで、あなたが裁量という言葉で捉えた事柄に違いがあるかどうか十分に考察すること。

[小論文2]

下記の【課題文】を読み、【問1】から【問3】までの問いに答えなさい。

【課題文】

<省略>

<声 オピニオン&フォーラム 朝日新聞 2021年5月19日より>

【問1】(10点)

課題文によれば、日本の公共交通（バス）の現状はどのような状況にあるか、説明しなさい。

【問2】(15点)

課題文によれば、PSO制度はどのような制度か、説明しなさい。

【問3】(25点)

課題文によれば、A教授は、なぜ日本にPSO制度を導入すべきだと考えているのか説明し、その点に関する自己の見解も述べなさい。